

第21回 千葉県中学生創造ものづくり教育フェア「木工チャレンジコンテスト」について

- 1 課題 ①板材を活用し、生活や社会の問題を木材加工の技術により解決できる作品の設計・製作
(構想作品の例：高齢者又は幼児のための作品、学校又は家庭で役立つ作品など)
②ペン立て製作(当日製作課題)

2 材料

①の課題について(競技者自身で用意するものとする)

- (1) 板 材 以下の寸法の一枚板もしくは集成材2枚と合板1枚(単位はmm)
集成材：t15 × W200 × L900 合板：t4 × W450 × L450
※木材及び木質材料の樹種は自由とする。
- (2) 接合金具 釘・木ねじ・ボルト・ナット・ノックダウン金具・補強金具・蝶番
※上記以外に取っ手、フック、マグネットキャッチは使用可とする。
- (3) 接着剤 酢酸ビニル樹脂系接着剤(木工用接着剤)

②の課題について(主催者側で用意する)

- (1) 板 材 t14 × W60 × L400 エゾ松材 (ジョイフル本田でL910の同材料が売られています)
- (2) 接合金具 釘(32mm)
- (3) 接着剤 酢酸ビニル樹脂系接着剤(木工用接着剤)

3 競技内容・審査内容

①の課題について

- (1) 競技者自身が用意した材料から課題作品をコンテスト当日までに設計・製作し、その完成度を評価する。(作品の寸法は、3辺の合計の長さが160cm以内とする。)
- (2) 事前に作品を製作する時間は4時間以内とする。完成した作品を当日、会場まで持参する。
- (3) コンテスト当日に作品を提示し、使用目的、使用方法、工夫点、自己PR等のプレゼンテーションを行う。
プレゼンテーション時間：2分以内 ※審査員からの質問は別
※プレゼンテーションでは、作品のほかに、説明用ポスターとして紙やプレゼンテーションスライド3枚以内を用いて発表することができる。スクリーン及びプロジェクターは、運営側で用意する。(パソコンを使用する場合は、競技者側で用意する。(HDMI接続ができるパソコン)) Wi-Fiはつながりませんので、ご注意ください。
- (4) 評価については、「令和7年度千葉県中学生創造ものづくり教育フェア『木工チャレンジコンテスト』評価の観点」(別紙)に準じて行う。

②の課題について

- (1) フェア当日、60分の競技時間を設けて、製作する。製作課題の詳細については、7月18日までに、『GI☆KA CHIBA』ホームページにて発表する。
- (2) 使用工具は、主催側で用意したものを使用する。それ以外の工具の使用は認めない。
- (3) 評価については、「令和7年度千葉県中学生創造ものづくり教育フェア『木工チャレンジコンテスト』評価の観点」(別紙)に準じて行う。

4 使用工具等

①の課題については競技者自身で、製作の際に用意する。

②の当日課題については、主催者側で用意するものを使用する。

(当日課題の木材は、ジョイフル本田で L910 のものが売られています。練習する場合の参考にしてください)

・基本となる工具等

さしがね、直角定規、のこぎり(両刃や片刃)、平かんな、釘抜き、げんのう、四つ目ぎり、三つ目ぎり、釘しめ、削り台、木工万力、紙やすり、鉛筆、消しゴム、のみ

・必要に応じて使用する事ができる工具等

けびき、ノギス、三角定規、コンパス、はたがね、各種クランプ、木工用やすり、鉛筆削り、はさみ、カッター、ねじ回し

※木工工作機械は、糸のこ盤、ボール盤については使用可。当日課題のペン立て製作では、糸のこ盤の使用は不可。また、ボール盤でφ15及びφ12の穴あけを行うところがある。

※太字で下線のある工具が、当日課題で使用できる工具とする。

5 コンテスト当日の提出物(持参品)について(①の課題に関するもの)

(1) 提出物 : 応募書(原本を松戸市立小金中学校 小嶋健一まで提出)

製作した作品、構想図、材料取り図、課題設定理由シート、CD-R

①構想図は、等角図または第三角法による投影図で作成する。

②構想図と材料取り図は別紙様式を使用すること。(寸法を記入する)

③CD-Rの内容(以下のデータを確実に入れてください。ない場合は、減点となります。)

板材の写真データ(1枚)及び以下の作業の様子の写真データ(各場面2枚)

作業場面: さしがねによるけがき、のこぎりによる切断、かんながけ、釘打ちによる組み立て、直角定規による検査、紙やすりによる仕上げ作業

(2) 提出方法: 当日、会場に(1)の6点を持ち込み

(3) 提出日: 令和7年11月8日(土)

※②の課題に関する当日の提出物はありません。

6 その他

・希望する場合は、千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会ホームページ『GI☆KA CHIBA』より、申込書をダウンロードし、必要事項を入力の上、期日までに提出をしてください。提出先等詳しくは、県ものづくり教育フェア要項をご確認ください。(その他、応募書・構想図・材料取り図・課題設定理由シートのデータも『GI☆KA CHIBA』ホームページ内からダウンロードしてください。)

・千葉県内の中学生であれば誰でもエントリーすることができます。(出場は輪番制を基本とする)

ただし、1校から複数名の参加を希望する場合は、2人を限度とします。

・①の課題についての材料費は、大会本部からは負担しません。

・3位までを表彰します。また、この3名が上位の者から順に全国中学生創造ものづくり教育フェア「木工チャレンジコンテスト」への応募資格を得るものとします。

・本大会についての問い合わせは、下記までお願いします。

袖ヶ浦市立昭和中学校

金井裕弥

〒299-0257

袖ヶ浦市神納3204

TEL: 0438-62-2034

FAX: 0438-62-4247

第21回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア「木工チャレンジコンテスト」部門
課題競技の評価の観点（評価の方法，評価方式による総合評価）

評価の観点は以下のA～Dの4項目とする。

A 関心・意欲・態度（製作中・プレゼンの態度）

- (1) 安全に留意して作業を進めているか。
 - (2) 工具や材料を適切かつ丁寧に扱っているか。
 - (3) 整理整頓が行われているか。
 - (4) わかりやすく説明ができているか。
- ※作業中の写真及びプレゼンで評価する。

B 創意工夫（作品の創意工夫）

- (1) 使用目的に応じたデザイン・接合方法に創意工夫が見られるか。
 - (2) 材料を過不足なく有効・合理的に使用しているか。
 - (3) 製作の過程で創意工夫が見られるか。
- ※作業中の写真、作品及びプレゼンで評価する。

C 知識・技能（材料の固定，工具の持ち方，作業身体動作など工具の合理的な使用に関する知識と技能）

- (1) さしがねの使用に関する知識と技能を習得しているか。
 - (2) のこぎりの使用に関する知識と技能を習得しているか。
 - (3) かんなの使用に関する知識と技能を習得しているか。
 - (4) げんのうの使用に関する知識と技能を習得しているか。
 - (5) その他の工具の使用に関する知識と技能を習得しているか。
- ※作業中の写真で評価する

D 作品の精度（作品の仕上がり精度，材料の使用方法）

- (1) 部材の寸法が正しく，接合面の目違いがないか。
 - (2) 作品の角度は正しいか。
 - (3) 表面がきれいに仕上がっているか。（端欠け，釘の突出，げんのうによる打撃痕等）
 - (4) 各部材の合理的な使用がなされているか。（木目による繊維方向等）
- ※作品で評価する

備考

- 1 各項目の合計で、①の課題および、②の課題の審査を行う。2つの課題の審査を総合して、順位を決める。
- 2 ①の課題において、時間延長は減点をする。10分ごとに10点の減点とする。
（プレゼン時に報告）

※端数切り上げ。例) 4時間3分ならば、4時間10分に換算。

千葉県中学生創造ものづくり教育フェア「木工チャレンジコンテスト」出場輪番制について

「木工チャレンジコンテスト」にエントリーする生徒が少ないことが多く、県知事賞との兼ね合いが毎年、懸念されている。県内各校の題材で、木材加工を取り上げる学校が多いと考え、より裾野を広げるということで、今年度も以下のことを提案します。

※県知事賞を申請するには8名以上のエントリーが必要

出場の輪番制

- (1) 県内を2つに分け、輪番で支部より最低でも1名の生徒を参加させるようにする。
- (2) 該当年度でなくても、参加を希望する学校はエントリーできる。
- (3) 支部内での参加校の決定は、支部理事に一任する。
- (4) 会場の規模を考え、16名までの参加となるようにする（同じ机に2人）。
※万一参加者が多い場合は、3人がけの机をつくり、参加させる。
- (5) 支部内で参加希望者がいない場合は、支部理事あるいは支部事務局長の学校から責任をもって参加させる。
※支部内でも輪番制を採用するなど工夫し、欠員は避ける

支部名	7	8	9	10	11	12	13	14	
千葉	○		○		○				
市原	○		○		○				
習志野	○		○		○				
八千代	○		○		○				
船橋	○		○		○				
市川	○		○		○				
浦安	○		○		○				
東葛	○		○		○				
印旛		○		○		○			
香取		○		○		○			
東総		○		○		○			
山武		○		○		○			
長生		○		○		○			
夷隅		○		○		○			
安房		○		○		○			
君津		○		○		○			

今年度より、東葛支部が北部と南部に分かれたため、今後、そのことも考慮した輪番制を考えていく。学校数や技術科教諭の人数が少ない支部への負担を減らしていけるようにしたい。もしくは、輪番制自体の廃止も検討する。

全国中学生創造ものづくり教育フェア「木工チャレンジコンテスト」への出場について

1 課 題 「全国中学生創造ものづくり教育フェア」要項を参照してください

2 参加資格 県代表1名(直接全国1次予選へ参加。県木工チャレンジコンテストで、1～3位に入賞した者に、上位から順に権利を付与)

3 提出物と締切

(1) 1次作品募集・審査(令和7年11月21日締切)

- ・作品及び製作動画、構想図(等角図又は第三角法による正投影図)、問題解決レポート、材料取り図、工程表、応諾書を運営事務局に送付。
- ・大会参加費は2,000円。大会要項に記載してある指定口座に振り込む。(別途、振込手数料がかかるとのこと)

※1次審査の結果は12月上旬～中旬頃に発表される。

(2) 全国大会出場決定生徒の事前提出物 (令和8年1月16日必着)

- ①製作品
- ②構想図(等角図又は第三角法による正投影図)、問題解決レポート、材料取り図、工程表
- ③製作動画(SDカード推奨)
- ④プレゼンテーションを録画した動画ファイル
 - ※③と④については記憶媒体(DVD or SDカード)にコピーしてから提出
- ⑤指導者からのコメント(200～300字程度)
- ⑥作品・製作風景の写真

4 全国大会

(1) 実施日 令和8年1月31日

(2) 会 場 競技者：各所属中学校 リモート開催

(3) 競技内容

プレゼンテーション(2分以内で事前録画)及び自己PR(オンラインで1分以内)

5 備考

詳細については、「全国中学生創造ものづくり教育フェア」のホームページから、木工チャレンジコンテストのページを見てください。要項がアップされるので、それを見て、確認してください。

特に、全国を狙っている生徒は、県木工チャレンジコンテストに向けての作品製作の段階から動画を撮影しておく、後々が楽です。

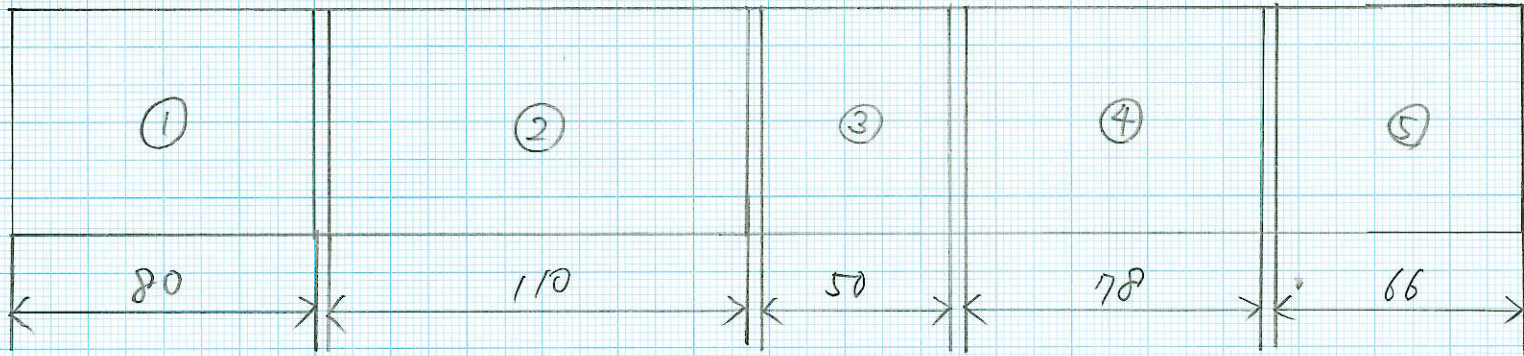
課題設定理由シート

学校名	中学校
学年・氏名	<small>ふりがな</small> 年・氏名
作品名	
作品を 製作した 理由	
使用して いるところ の写真 (2枚以内)	
製作時間	時間 分

手書きでも、パソコンで記載してもかまいません。印刷して、フェア当日に持参してください。

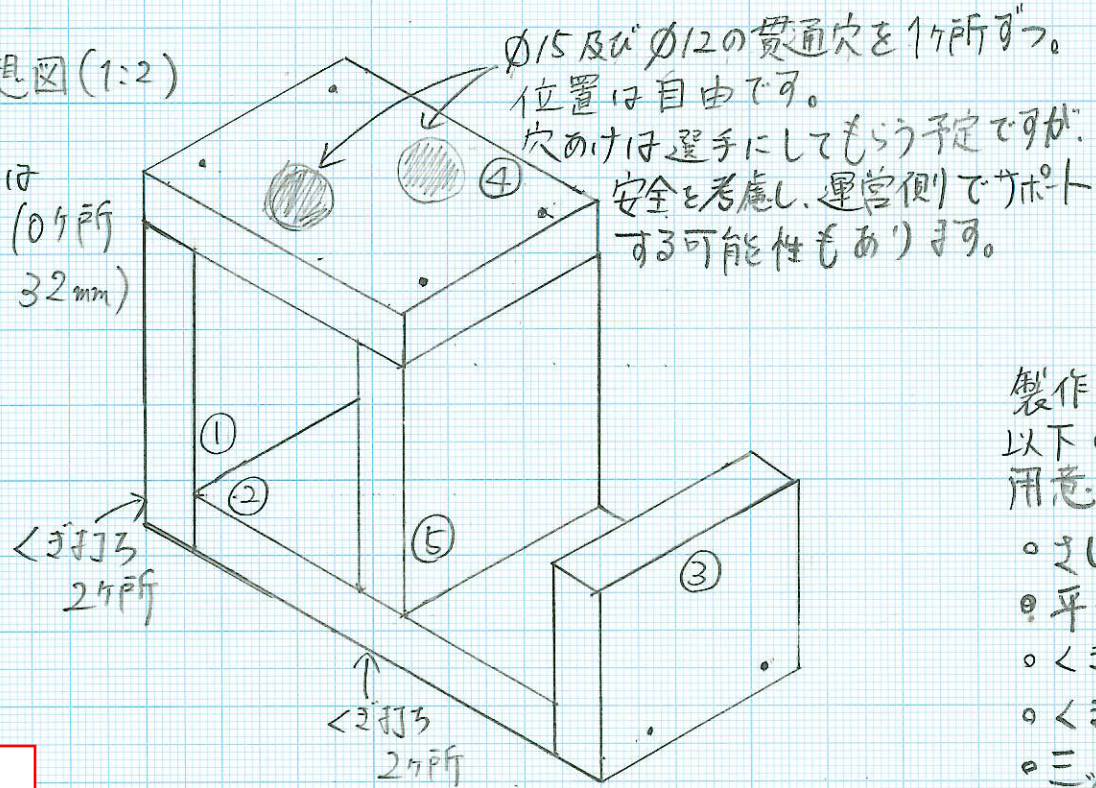
材料どり図 (1:2)

材料はエゾ松板 (W60 × L400 × t14)



構想図 (1:2)

くぎ打ちは
全部で 10ヶ所
(くぎの長さ 32mm)



当日の製作課題について
(材料取り図と構想図)

製作において、使用できる工具は、
以下の通りです。工具は 運営側で
用意したものを 사용합니다。

- ましがね
- 平かんざ
- くぎしめ
- くぎぬき
- 三日月ざり
- すじけびき
- 両刃のこぎり
- 四つ目ざり
- げんのう
- 紙やすり
- 直角定規